

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成26年(2014)4月10日
No. 76
発行 高津啓洋

海の森植樹まつり参加

海の森は東京都の「夢の島」で、ご存知の方も多いいと思います。今回の植樹は、江東区の中央防波堤の内側埋め立て地、「海の森公園」予定地への植樹でした。

苗木を約8000本(29日、30日の2日間で植えるもの)を、参加者は「苗木作り」ボランティア協力企業・団体等 計33企業・団体、約650名で協力して植樹しました。



高津代表をはじめ、昨年同様「ドングリの森」のグループに参加しました。この事業は平成27年度で完了予定です。

最初は会員であり、かつ「ドングリの森」の責任者・中田育子さんが、苗木を毎年1000本ほどを育てて、提供しながら植樹に参加してきました。今は、ご主人の中田欣宏さんが継承して育てています。

ここでは、10本から20本植えた木のうち、10年から20年ほどで、一番大きな木となった1本を残す形で、徐々に森を大きくしていこうとしています。海の森公園予定地は広大な場所です。2年後から一般公開されるのですが、2020年東京オリンピックの頃には森が育って、日本を訪れる世界の人々が目を見張る様な素晴らしい景観になる事と思います。

参加者募集中 「津波防波堤植樹会」 三陸被災地慰霊の旅

4月19日(土)皆で東北の 為に木を植えよう!

- 4月18日(金) 21:00 池袋駅集合
→21:40池袋発
 - 4月19日(土) 7:10 大槌町到着
 - 4月19日(土) 20:50 大槌町発
 - 4月20日(日) 6:25 池袋到着
- ※滞在を続ける方は、大槌町現地解散。
【バス申し込みは各自でお願いします】
JTB高速バス大人往復9,200円
東京→釜石※池袋—新花巻・遠野・釜石・大槌・山田遠野・釜石号(1号車)

受付時に、椅子、タオル、お楽しみ抽選会の抽選券、帽子、が1つとなった袋をいただきました。そして、活動後には昼食が配られました。

2つ目は、大槌町民の方々の協力がありました今回の植樹祭では、大槌町の婦人会や、町民の方が多く参加し、地元の森を自分たちで作る意識の高さを感じました。昼食では大槌高校のブラスバンド部に寄る演奏会が行われ、楽しく過ごせました。式の進行も地元の高校生が行いました。そして、大槌町の方々はとても人情深く、一生懸命に植樹されている方々を見て、とても楽しく、熱中して活動できました。」下の写真は今年の植樹祭と大槌町・町役場の被災地を訪問。

昨年の参加者のご感想より抜粋…
「大震災から2年3ヶ月目の5月18日、岩手県大槌町浄化センター敷地で、400人による5000本植樹が行われました。

今日も宮脇先生の植樹ガイダンスから始まり、社長さん方、子ども達と共に、自然植生を学んでから活動しました。被災に遭われた人の分まで、生き残った私たちができる最低限の活動である、と树一本一本丁寧に植えました。

1つ目は、待遇の良さ、です。横浜ゴムを始め、共催された企業の善意が伝わりました。なぜなら、

